

修学旅行 6年生 (12月2日～3日)

12月2日(木)と3日(金)の両日、修学旅行に行ってきました。本来であれば、9月28日29日に実施する予定だったのですが、9月、福岡県に緊急事態宣言が発出されたため、この日に延期となったのです。本年度も、コロナ対策のため昨年度に引き続き、宿泊場所を大分県城島高原ホテルから宗像の玄海ロイヤルホテルに、見学地も、グリーンランドを除き、福岡県内の施設に変更しました。コロナ感染症が落ち着いているとはいえ、油断のならない状況ですので、バスの中や見学地、ホテルでの過ごし方等、多くの制約を課さねばなりませんでした。申し訳ない気持ちで一杯でした。

1日目は、大刀洗平和記念館とグリーンランドに行きました。大刀洗平和記念館では、特別攻撃隊員(特攻)が家族や知人に宛てた手紙やゼロ式艦上戦闘機、陸軍が使用した攻撃機などの常設展示物を見学しました。また、絵本の読み聞かせを聞いたり、ビデオを視聴したりしながら、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学習しました。グリーンランドでは、広大な敷地に展開する絶叫系マシーンやお化け屋敷といったアトラクションを楽しんでいました。絶叫系マシーンに何度ものるグループもありました。時間が惜まれるのでしょうか。乗り終えると、次のアトラクションまで走って移動するグループもありました。子ども達にとってはあつという間の3時間だったことだと思います。学年集合写真と学級写真を撮った後、この日宿泊する「玄海ロイヤルホテル」へと向かいました。ホテルでは、豪華な夕食を食べたり、大浴場で汗を流したり、部屋で友達と語り合ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。気持ちが高ぶっていたのでしょうか。消灯後、遅くまで寝付けなかった子どももいたようでした。

2日目は、福岡市科学館と海の中道マリンワールドに行きました。昨夜の寝不足のせい、バスの中では、ガイドさんの話を子守歌代わりにしながら爆睡する子どもが続出(笑)。どんな夢を見ていたのでしょうか。福岡市科学館では、科学の面白さ・不思議さが体感できる展示コーナーを満喫。その後、プラネタリウムで星の観察をしながら宇宙の魅力を味わいました。最後の見学地マリンワールドでは、イルカやアシカのショーを堪能しました。動物たちの凄技や愛らしい仕草に、子ども達から大きな拍手と歓声が湧きあがりました。2日間という短い旅行ではありましたが、様々な体験活動を通して、見聞を広げるとともに、友達との絆を深めることができました。子ども達にとって、一生の思い出となる修学旅行になったのではないのでしょうか。





人権週間（12月4日～10日）

1948年（昭和23年）12月10日、国際連合は、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を守るため、世界人権宣言を採択しました。また、1950年（昭和25年）12月4日には、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「世界人権デー」と定め、人権活動を推進するための諸行事を行うようにしました。そのため、この日は、日本だけではなく、世界中で「人権を大事にしよう」「人権を守ろう」といった活動が行われています。池田小学校では、これまで、この人権週間にあわせて様々な取組を行ってきました。①人権週間初日に校長が講話をする、②北九州市人権推進センター制作の「明日への伝言板」を校内放送で流す、③教育委員会が募集する書写や標語の作品作りに取り組む、④読み聞かせボランティア「ともだちや」の皆さんによる人権に関する絵本の読み聞かせを行う、といったことです。

日本国憲法第11条には「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と謳われています。しかしながら、現在、日本には、同和問題や男女差別、コロナ感染症に関する差別等々、様々な人権問題が存在します。人権問題の解決は、容易なことではありません。だからこそ、家庭と学校とで力を合わせて、粘り強く丁寧に子ども達の心を育てていくことが大切です。また、併せて、我々大人が自分自身の人権感覚を磨いていくことが、人権問題解決の一步になるのだと思います。子ども達が暮らす「未来」が、思

いやりに溢れた、温かい社会となるよう力を尽くしていきましょう。



PTA クイズ大会

11月29日(月)と30日(火)の両日、PTA主催の「クイズ大会」が行われました。ここ2年、コロナのために、「池田フェスティバル」が中止となっています。「池田フェスティバル」は、子ども達は勿論のこと、保護者や地域にお住いの方も楽しみにしていたPTA行事です。子どもと大人が一緒になって作り上げ、楽しむビッグイベントでした。そんな心躍るイベントが開催できないことから、「コロナ禍でもできることはないか」「子ども達が楽しめるイベントをしてあげたい」というPTAの皆様方の熱い思いが、「リモートでのPTAクイズ大会」の実現につながったのです。クイズの内容も学年の実態に合わせたものにするなど、創意工夫して頂いていました。また、成績優秀者への賞品や参加賞等も準備していただいていたので、大変盛り上がりました。子ども達のために、ご尽力いただき、心より感謝申し上げます。





思春期健康教育（4年生）

11月26日（金）「思春期健康教育」が行われました。毎年、4年生児童を対象として行われているものです。2名の助産師さんと1名の保健師さんが来てくださいました。「いのちの始まり」「胎児の成長の様子」についてお話を聞きました。また、「心地よい音楽を聴きながら、目を閉じてお母さんのおなかにいる自分を想像する体験」や「赤ちゃん人形を抱っこする体験」等、心が温くなるプログラムの連続で、あっという間に時間が過ぎていきました。助産師さんの話に耳を傾ける子ども達の素直な表情が印象的でした。この取組は、思春期の入口に立つ子ども達に、自分の心や体について正しく理解させることで、自分や友達への心と体を大切にしようという心情と態度を育成することを目的として行われています。助産師さんの「心が苦しくなったら、お母さんのおなかの中にいた時と同じように、体を丸め、両手で自分の体を抱きしめてあげると心が楽になるよ」という優しい語り掛けに、うなずきながらやってみる子ども達の姿が、かわいらしかったです。

